

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
092045_佐野市	②学校と地域の課題	その他	子どもたちと地域(住民・資源)との交流の機会が減り、ボランティア数も減っている。また、地域住民の地域とのつながりが希薄化している。	地域学校協働活動推進員を配置する。学校支援ボランティアなどにより地域住民が学校へ協力できる場を設け、多くの方に学校に関わっていただく。放課後子ども教室を週1回程度実施し、活動を通して地域ボランティアと交流するとともに、地域を知る活動を実施する。	学校(放課後)を拠点として学校・家庭・地域が交流することができ、学校と地域、地域の大人同士、子どもと地域の大人などのつながりができる。	地域学校協働活動に参画する地域住民の数(延べ人数)	11840	人	13650	11988	2 今年度市内4校の合併により開校した義務教育学校に新たに学校地域応援団(地域学校協働本部)を設置し、推進員を配置することにより、地域学校協働活動に参画する住民への支援を行った。 主に登下校時の見守りボランティア数がスクールバスの活用等により従来の想定より減少したため、実績値が目標値よりも低くなる結果となった。 来年度以降も学校地域応援団を新規に設置する予定のため、合わせて学校支援ボランティアを初めとした地域学校協働活動が周知されるよう取組を検討する。
092045_佐野市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	学校以外の場で、自然体験活動や地域を知る活動など、多様な体験活動を行う機会が減っている。	放課後子ども教室を週1回程度実施し、地域資源(もの・歴史・お年寄りの経験等)を活用した多様な体験活動を実施する。	地域に愛着を持つ子どもが増える。子どもたちと地域のつながりが強化される。	地域に興味を持った子どもの割合(参加児童のアンケート)	-	%	60	79	3 クリケットや化石磨き、ペーゴマ等地域資源を活かした体験活動を活動に盛り込んだことにより、地域のことに関心を持った児童が多かった。 今後も継続的に高い割合を保てるよう、コーディネーターや協働活動サポーターが情報を共有する機会を提供していきたい。